

岩手県知事  
達増拓也 様

2022年1月19日  
岩手県保険医協会  
会長 南部淑文

## 後期高齢者が現行の1割負担で受診できるよう求める要請書

拝啓

県民の健康保持のためご活躍されておられますことに敬意を表します。

当協会は県内の医師及び歯科医師で構成する団体です。

ご承知の通り、政府は本年10月より年収200万円から383万円の後期高齢者の医療費窓口負担を現行の1割から2割へ引き上げること決めました。通院、入院を合わせると一人当たり年間3万4千円の負担増となります。激変緩和措置が実施されても、一人当たり年間2万6千円の負担増となり、その措置も施行後3年で廃止されます。本県の場合、対象者は約3万人に上ります。

後期高齢者はその特性からどうしても医療機関を受診する回数が増えます。受診する科も増え、窓口負担の支払いも増えます。支払いを気にするあまり受診や服薬を中断すれば、脳血管疾患など重篤な病気を引き起こし半身不随などの後遺症が残る可能性もあります。定期的に受診するなど日々の体調管理が必要です。

受診抑制につながる恐れのある窓口負担引き上げは今すぐ撤回すべきです。国に2割負担を強行しないよう要請するとともに、国が強行した場合、県は1割負担で受診できるよう補助する仕組みを検討して下さい。

つきましては、下記につきまして要請致します。宜しくお願い致します。

敬具

記

要請事項

- 1, 10月から2割負担導入を行わないよう国へ要請して下さい。
- 2, 国が2割負担を強行した場合は、県民がこれまで通り1割負担で受診できるよう県として助成を行って下さい。